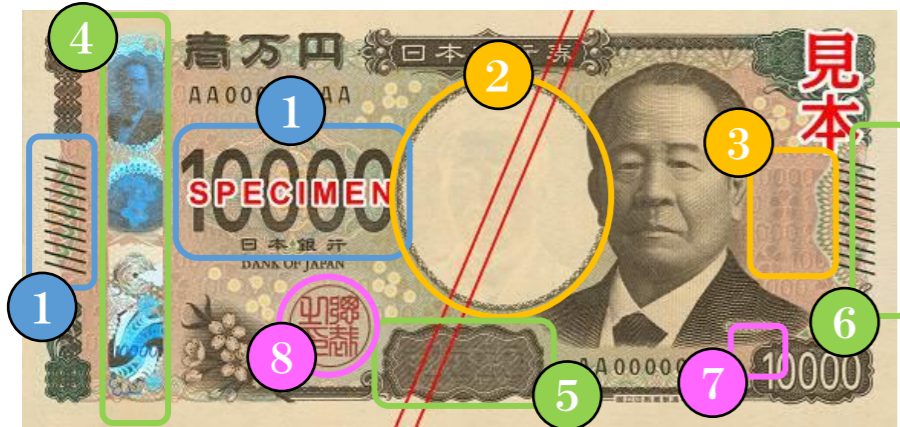


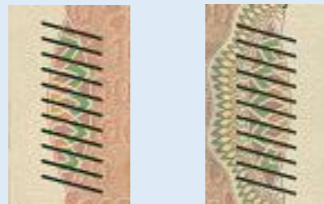
偽造防止技術 ～ 4つの「分かる」～



その1～触って分かる～

① 深凹版印刷

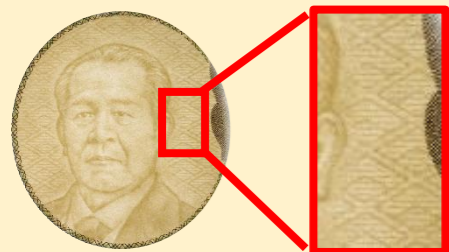
- ・ 額面数字
- ・ 識別マーク



インキを高く盛り上げる印刷技術。
触るとざらざらしています。

その2～透かして分かる～

② 高精細すき入れ (すかし)



従来からの肖像のすかしに加え、背景に高精細なすき入れが入っています。

③ すき入れバーパターン



縦棒状のすき入れ。
券種毎に本数が異なっています。

一万円券：3本 五千円券：2本 千円券：1本



その3～傾けて分かる～

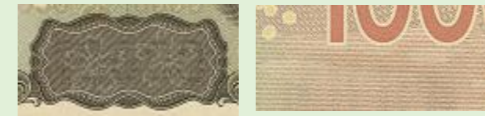
④ ホログラム



肖像が三次元に見えて回転する
(銀行券への搭載は世界で初めて)
ほか、肖像以外の図柄も見る角度によって変化します。
一万円券・五千円券：ストライプ型
千円券：パッチ型

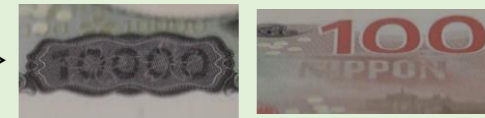
⑤ 潜像模様

<正面図>



傾けると、文字が浮び上がります。

<傾けた図>



表面：「10000 (額面数字)」
裏面：「NIPPON」

⑥ パールインキ



傾けると、左右両端に
ピンクの光沢が見えます。

その4～道具で分かる～

⑦ マイクロ文字



「NIPPONGINKO」

虫眼鏡などで見ると、
コピー機では再現できないほど小さな
文字が見えます。

⑧ 特殊発光インキ



紫外線をあてると、
日本銀行総裁の
印章や模様の一部
が発光します。



五千円券および千円券にも同様の偽造防止技術を
搭載しています。